



## 平安時代の学習（8時間扱い）

### (1) 本時のねらい

さいたま市にも平安時代遺跡があることを知り、当時の人々の生活を考える活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で日本の歴史を理解する。撰関政治、院政、平氏の政治といった、それぞれの政治のしくみを理解させ、政治体制の変化や時代の流れを筋道たてて説明できる。

ジグソー学習を通し、一人ひとりが調査に責任を持ち、また、生徒同士の教え合い、学び合いの姿勢を養う。

### (2) 展開 概要

学習活動・学習内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>先土器時代に作った帯グラフを出し、平安時代の長さを確認する。他の時代との比較をする。</li> <li>※「こんなに長い平安時代、どんな時代だったのかな？」既得の知識を使い、各自ノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約400年も続いた長い時代であったことに気付かせる。</li> <li>既得の知識が本当に正しいのか、検証する授業を行う。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>『平安時代はどんな時代？』 ～ 平安時代の流れを体感しよう！ &lt;ジグソー学習を通して&gt; ～</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ジグソー学習を行い、一人ひとりがテーマに従って調べ、班全員に説明する。</li> <li>平安時代を大まかに4つに区切り、(桓武天皇親政 撰関政治 院政 平氏院政) 流れを説明する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt; 役割分担 &gt;</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>撰関政治 院政 平氏の政治 国風文化</p> <p>さいたま市の平安時代の様子</p> <p>a 生活... 氷川神社東遺跡, 宿宮前遺跡</p> <p>b 寺社... 天台宗(慈恩寺)、真言宗(玉蔵院)など</p> </div> <p>の5つを小テーマにし、グループ作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1クラス40人として、5人の班を8グループ作る。</li> <li>5人それぞれが ~ を分担し、下調べを行う。</li> </ul> <p>のさいたま市の平安時代の様子は、事前に教師からの説明を聞き、その後調べ学習に入る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジグソー学習を通して、一人ひとりに学習に対する責任感を植え付けさせる。</li> <li>的確な方法で調べ、まとめ、発表するといった、学び方のプロセスをきちんと理解させる。</li> <li>天皇親政のみ教師が説明し、残りを生徒に分担させる。</li> <li>テーマに沿って土・日を使い、図書館や博物館資料をもとに調べさせる。</li> <li>事前に調べ方は、説明済みである。</li> <li>インターネット資料は、公の機関のホームページ以外は不可とする。インターネット資料の信憑性について、事前に説明しておく。</li> </ul>

各時の授業展開 平安時代の学習の流れ 毎時間、終了時に自己評価を行う。	・自己評価を行うことで、毎時間目的意識をもたせる。
<p>&lt; 第1時 &gt; 【天皇親政 (30分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【平安京遷都】→『なぜ、平安京に遷都したのか？平安京はどんな都市だったのか？』について資料をもとに考える。</li> <li>・既得の知識をもとに、予想をノートに書き、発表する。その後資料をもとに検証していく。</li> <li>・奈良時代の政治の問題点を挙げ、(律令政治のゆきづまり、貴族同士の争い、疫病の広まりなど)平安遷都に到った過程を考える。</li> <li>・年表で平安時代の流れを確認する。</li> <li>・映像で、平安京遺構や現在の様子について知る。平城京との比較をし、特徴をとらえる。 例 条坊制 内裏 朱雀通り など</li> <li>・蝦夷への政策、新しい仏教、についての説明をうける。</li> <li>・多賀城や胆沢城、延暦寺や金剛峯寺の映像を見て、理解を深める。</li> </ul> <p>【ジグソー学習説明 (20分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジグソー学習の趣旨、やり方を説明する。</li> <li>・班決め、役割分担を行う。</li> </ul> <p>自分のテーマについて、次時までにはノートに下調べをしてくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発に発言させるようにし、全員に平安京に対するイメージを具体化させる。</li> <li>・「政治の一新(仏教勢力の台頭、疫病の流行など)→遷都へ」の道筋を理解させる。</li> <li>・平安京と仏教勢力との関係にもふれる。平安京遷都へと到った理由を理解し、自分の言葉で説明できるか。 (表現・理解)</li> <li>・条坊制(碁盤の目)が今でもきちんとして残っており、現在の京都の住所が南北の道と東西の道の名前で表されていることに気付かせる。</li> <li>・朝廷の蝦夷支配の様子、蝦夷の激しい抵抗、また最澄、空海によって唐から新たな仏教がもたらされたことについて、資料をもとに考えさせる。</li> </ul> <p>ジグソー学習の自分の分担について、積極的に調べ、説明しようとする意欲を持てたか。(意欲・態度)</p>
<p>&lt; 第2時 &gt; 【情報交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ~ の同じテーマ8人で、調べたことに対する情報交換を行い、ノートに情報源や情報そのものを書き足していく。</li> <li>・ A3画用紙に調べたことをまとめていく。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(内容) 1テーマ 2仮説 3手立て(小見出し3つ程度) 4テーマに対する答え 5まとめ 6わかったこと</p> </div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じテーマを調べているクラスメイトとの情報交換により、知識・情報の深まりが期待できる。</li> <li>・ A3の紙に内容に沿って下書きをさせ、許可を出した後で清書をさせる。</li> <li>・ 丸写しではなく、自分の言葉で表現させる。</li> </ul>
<p>&lt; 第3時 &gt; 【発表原稿作り】 ~ の同じテーマ8人で行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表原稿の書き方の基礎を教える。</li> </ul>



<p>ま と め</p>	<p>- (内容例) -----  武蔵国の争いに関与する。  親皇と名のり、関東を支配しようとする。  藤原秀郷、平貞盛に討ち取られる。 など</p> <p>・紙芝居を見てわかったことをノートに書き、発表する。</p> <p>・天皇、貴族の子孫が国司など、地方に下向して武士団を形成した。その代表が源氏、平氏であることを知る。</p> <p>・惣領、庶子など、武士団についての説明を聞く。</p> <p>・保元、平治の乱についての説明を映像を見ながら聞く。 → 天皇家、貴族、武士の覇権争い。  一族が敵味方に分かれて戦った。  平安京の町中が舞台である。</p> <p>・平清盛の政治の内容を教科書、資料集などから、ノートにまとめ、発表する。  → 武士の棟梁、貴族の最高位、天皇の外戚  日宋貿易</p> <p>・本時の授業をふまえて、テーマ「武士が権力を持ってきた理由」について、ノートに書き、発表する。</p>	<p>土日)を紹介する。</p> <p>・平将門の乱の原因に武蔵武芝が大きく関わっていたことを知らせるが、あまり深入りしない。</p> <p>・平将門の乱を鎮圧した藤原秀郷、平貞盛の子孫がその後関東で大きな力を持ち、鎌倉幕府を支える御家人になったことを理解させる。</p> <p>・保元、平治の乱では、勝敗の帰趨を決したのは武士であり、平治の乱で勝ち残った平清盛が後白河上皇の信頼を勝ち取って、政権を担当したことを知らせる。</p> <p>・平治の乱で、貴族は後白河上皇を裏切り、発言力を失っていったことを知らせる。</p> <p>・平氏政権について詳しくは次時で扱う。  武士が力を持ち、政権を担うまでに成長した理由を説明できる。(表現・思考)</p>	<p>生徒作品の紙芝居</p> <p>教科書資料集</p> <p>【映像】  京都の保元、平治の乱の史跡</p> <p>【映像】  京都の平清盛史跡</p>
<p>導 入  展 開</p>	<p>&lt;第7時&gt; 【武蔵武士の活躍(治承・寿永の乱)と平安時代のまとめ】</p> <p>・先時の復習を5問クイズで行う。</p> <p>・「紅白帽、紅白歌合戦、紅白に分かれて戦うとは、どんな由来から？」を考える。</p> <p>・源氏(白旗) 平氏(赤旗)の旗を見て、気付く。</p> <p>・本時のテーマ、キーワードを全員で復唱する。</p> <p>・年表で源平合戦頃の出来事を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(テーマ)『武蔵武士である畠山重忠、熊谷直実が活躍した源平合戦とは、どんな戦いだったのか?』</p> </div> <p>【てだて1】平氏政権の問題点を話し合う。  「なぜ、平氏政権が長く続かなかったのか? なぜ、源平合戦(治承、寿永合戦)が起こったのか?」</p>	<p>・5問クイズは、テンポよく行い、本時の授業の意識付けとする。</p> <p>・埼玉県にも源平合戦で活躍した武士がいることを知り、興味を持たせる。</p> <p>・出てきた地名は、その場で地図で確認させる。</p> <p>・「平氏にあらざるは人にあらざる」の言葉からも、平氏</p>	<p>源氏と平氏の旗</p> <p>【地図】  日本地図  埼玉県</p> <p>年表</p> <p>平家物</p>

<p>前時の平清盛の政治を復習する。</p> <p>【てだて2】一の谷の合戦の様子を知る。「畠山重忠、熊谷直実の戦いの様子を知ろう！」</p> <p>・代表生徒2人が畠山重忠、熊谷直実について、出身から戦いの様子までを発表する。(各4分)</p> <p>畠山重忠：川本の武士、菅谷館、鴨越、 熊谷直実：熊谷館、平敦盛、</p> <p>・発表ごとに、わかったことをノートにまとめ(3分)、質疑応答を行う(2分)。</p> <p>・映像で一の谷の様子を見て、理解を深める。</p> <p>【てだて3】源平合戦の戦いの経過の説明を聞く。</p> <p>・日本地図を使い、京都 福原 一の谷 屋島 壇ノ浦と西に移動していくことを確認する。</p> <p>・源義経の活躍にふれる。</p> <p>・その後の屋島の戦い、壇ノ浦の戦いを映像を交えての説明をうける。</p> <p>ま と め</p> <p>・本時のテーマに対する答え、特に武蔵武士2人の活躍についてを自分の言葉でノートにまとめ、発表する。</p>	<p>一族の様子を理解させる。</p> <p>・戦いの様子は、平家物語、吾妻鏡などの記述を資料として活用する。</p> <p>・2人の生徒には、事前に下調べをさせ、数々の資料をもとに発表原稿を完成させる。</p> <p>・2人はどんな思いで戦いに参加していたのか、を考えさせ、次時の鎌倉時代の学習につなげる。</p> <p>・映像で、一の谷の険しさを実感させる。 武蔵武士の2人の活躍について、自分の言葉でまとめることができたか。 (表現・思考)</p> <p>源平合戦の流れ、時代の移り変わりを理解することができたか。(理解・思考)</p>	<p>語 吾妻鏡</p> <p>発表原稿</p> <p>【地図】 日本地図 埼玉県</p> <p>【映像】 一の谷 屋島、 壇ノ浦</p>
---	---	---

(3) 訪問先及び資料の入手先

土器の館、さいたま市立博物館、氷川神社東遺跡(大宮区)、宿宮前遺跡(桜区)、平安京資料館、平等院鳳凰堂、源氏物語ミュージアム、多賀城跡、東北歴史博物館、國王神社・平将門関係史跡(坂東市)、京都の平安時代史跡、平家物語ミュージアム、一の谷、屋島、壇ノ浦古戦場、東京国立博物館 など

資料

**氷川神社東遺跡** 出土品は？  
大宮公園内にある






朱墨硯      浄瓶

延喜通宝  
金銅仏

# < 平安時代の流れ >

## 平安京遷都（天皇親政）

平安宮 豊楽殿跡



京都アスニーに平安宮の詳しい資料がある

## 摂関政治

頼通がたてた宇治の平等院鳳凰堂



本尊、阿弥陀如来像

藤原道長の寺、法成寺

京都御所のすぐ東側にある

## 院政

院の中心白河南殿跡

白河天皇の法勝寺跡



法勝寺復元模型  
八角九重塔が  
権力のシンボル

## 保元・平治の乱

三條東殿跡

高松殿跡



後白河法皇の院の御所

保元の乱の後白河天皇  
の本拠地

## 平氏政権

平氏六波羅第跡

清盛西八条殿跡



後に鎌倉幕府の六波羅探題が置かれた

## 治承・寿永の乱（源平合戦）

一の谷（神戸）

屋島（高松）



壇ノ浦  
（下関）



## < 平将門 史跡 >

國王神社（将門を祀っている）



将門営所跡



将門の井戸と呼ばれている

